

萌黄 (もえぎ) 通信



こんにちは！
ウクレレの同好会の仲間から頭大のサツマイモを戴きビックリした堀内貢次（ほりうちこうじ）です（^^）

11月といえば、ポージョレヌーポーの解禁です。新種のワインが楽しめる時期です。

ついお祭り気分で沢山の種類のワインを飲んでしまい、「頭が痛くなってきちゃった〜(ㄟ)」とならないようにお気をつけくださいね。

「定番コースだね！」

10月23日(日)長女のもえぎと実家の今にいるときの話です。ふと、もえぎに聞いて見ました。

私「婚約者の彼をどこに案内する？」

も「ハロウィンの時期だしリゾナーレだね」

私「その他へは？」

マ「紅葉も始まってきたから、八ヶ岳倶楽部だね！！」



それって昔からの定番コースだね！！

同じ場所が好きだなんて、嬉しくなりました。

もえぎさん！ 思い出の場所巡りを選んでくれてありがとう！

御影石バーナー仕上げの床に機械油が

御影石バーナー仕上げのエンタランス床に、コンプレッサーが何かの油が飛んでしまい、写真のような濡れシミが広範囲に広がってしまいました。

黒御影なので、濡れると真っ黒になってしまうのが特徴です。油は乾かないので、シミ抜きをしないとこの状態が続いてしまいます。

対処は、商業ビルのエンタランスなので夜間作業となります。

まずは、油を分解する洗剤で全面洗浄を行ないます。

コツは、洗剤の塗布後、しばらく油シミと反応させるために出来るだけ長くそして繰り返し塗布していくことです。

そして、すすぎを兼ねてポリッシャー洗浄をし、乾燥後に取り切れていない油シミに対して、個別にシミ抜きをしていきます。このときは、他の洗剤も使い、石1枚ずつ処理していきま

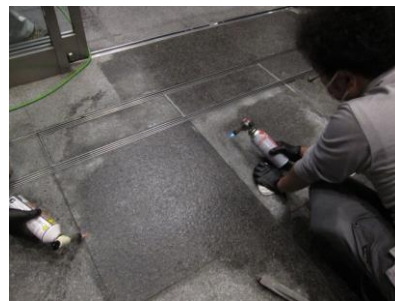
す。更に洗剤の反応を良くするために、簡易バーナーを使って洗剤を暖めて洗浄効力を高めてあげることがコツになります。シミの原形が分からない位に仕上がりました。



1. 機械油がこぼれて出来たシミ



2. まずは、全体洗浄



3. シミの強い部分の個別シミ抜き



4. 施工完了後

御影石のキッチン天板は油の汚れが付きもの

御影石本磨きの天板のキッチンでは、特にレンジ周りで写真のような濡れシミが。どうしても油が飛ぶ事が避けられないので、定期的な油抜き洗浄が繰り返し必要になります。



編集後記：今月には、長女・もえぎの結婚相手のご両親と初顔合わせがあります。盛り上がれば良いけど、違った場合の何か話題を考えないといけないですね。

萌黄通信 基本的には毎月発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町 1-1-10 5F

(電話) 03-3431-1293: (Fax) 03-3431-7198 感想・ご意見お待ちしております

<https://www.e-kands.jp> (メール) info@e-kands.jp